

平成 29 年度 松戸市商業ビジョン（概要版）

1. 商業ビジョンの必要性

- ・人口減少・高齢化進行地域における自宅周辺の買い物利便性向上ニーズの高まり
- ・東部地区の売場面積を除き、全ての地区において全ての指標が減少（事業所数、従業者数、売場面積、年間販売額）
- ・小売店の大型化や法人組織の小売店が増加する一方で、身近な商店街の店舗数は減少
- ・三郷市や流山市等の周辺都市で売場面積、年間販売額が増加
⇒市街地形成の経緯や商業施設の集積状況等の立地特性の違いによる商業振興方針が必要

2. 基本理念

市民の暮らしを支える商業の振興 ～商業地の魅力と利便性の向上～

3. 市全体の商業振興方針

基本方針

基本施策および構想事業 ※下線は新規事業

基本方針 1

活動体制・経営力の強化による持続的発展

- ・各小売店の連携・協働により商店会としての活動体制の強化を図るとともに、商店街と大型店の連携、地域全体が共通の目標を持って実施するソフト事業等を促進する。
- ・社会経済情勢の変化にも対応できるように個店の経営力の強化を図るとともに、新たな消費者ニーズに対応した起業を促進する。

- ① 商店会の組織力の強化
法人商店会の支援、商店会に対する講習会の開催、若手商業者の育成等
- ② 商業者間の連携の強化
商店会間の連携、商店会と大型店の連携、同業種・他業種との交流の促進
- ③ 共同ソフト事業の実施
商店街共同事業への支援、魅力ある商店街情報の発信、補助事業の利用促進
- ④ 個店の経営力強化
専門家による経営相談、各種融資制度の情報提供の充実、後継者の育成、ICT化の促進
- ⑤ 起業の支援
起業支援、新規事業支援

基本方針 2

商業空間の魅力アップによる地域内消費の促進

- ・大型商業施設を含め、市民ニーズに合った商業施設の充実を図るとともに、商業地の景観を損ねる空き店舗の有効活用を図る。
- ・消費者のライフスタイルの変化等を踏まえた、魅力ある店づくりとともに、市内の観光資源との連携により地域全体の魅力の向上を図る。

- ① 市民ニーズに合った商業施設の充実
市内消費の促進、商店街等の利用者増加を支援
- ② 空き店舗の有効活用
テナントミックスの推進、空き店舗の調査、空き店舗情報の発信、空き店舗活用の情報発信、新規出店にかかる店舗のリニューアル支援
- ③ 魅力ある店づくり
推奨品に関する支援、個店の情報発信力の強化
- ④ 商業と観光との連携
商業地の観光情報の発信、観光案内との連携への支援、観光資源の発掘と連携、インバウンド対策の推進、農工商連携の推進

基本方針 3

商業地を核としたコミュニティ機能の強化

- ・商業地において、若者から高齢者まで多様な世代が集い憩えるコミュニティ機能を導入するとともに、商店会と地域の各種組織（大学、自治会等）や市民が協力して地域の問題解決を図る取組を促進する。

- ① 商業地へのコミュニティ機能の導入
空き店舗へのコミュニティ機能の導入、コミュニティ機能の再生に対する支援制度の情報提供、高齢者や子育て世代等が買い物しやすい環境づくり
- ② 商店会と各種組織との連携
商店会と大学との連携、商店会とまちづくり会社・NPO等との連携、商店会と自治会等との連携
- ③ 商店会と市民との協働の取組の促進
市民参加の仕組みづくり

4. 拠点別の商業振興方針

※下線は新規事業

地域型商業エリアの方向性 「地域との連携による商業地の賑わいづくり」

- ・駅前商店街を中心として、大規模小売店舗、地元商店、チェーン店等が共存し、駅利用者と地区住民の双方の購買ニーズに対応した買い物がしやすい魅力ある商業拠点を形成する。
- ・地域住民同士や店主と住民、大規模小売店舗と商店街の交流の機会となっているイベントの開催等、交流活動を通じて商業地の賑わいづくりを促進する。

- ① 買い物しやすい商業地づくり
商店会と大型店・チェーン店との連携、商店街のテナントミックスの推進、老朽店舗等のリノベーションによる新規出店への支援、来街客の利便性の向上、高齢者等が買い物しやすい環境づくり

- ② 地域資源を活用した商業地の魅力づくり
公共空間の活用による新たな賑わいの場づくり、商業地の活性化イベントへの支援、サブカルチャーと商店街連携の支援

中心市街地エリアの方向性 「中心商業地としての商業・都市機能の集積」

- ・商業・業務機能が集積している松戸駅周辺では、中心商業地にふさわしい「賑わい」を高めるため、都市機能の更新に合わせ、商業の集積および魅力の向上や、安全で快適な歩行者空間の充実により、回遊性・滞留性を向上させ、商圏の広域化を図る。

- ① 広域的な集客力を持った商業機能の集積と魅力向上
土地の高度利用と連携した商業機能の配置、商業の集積・魅力向上、商店会と大型店の連携

- ② まちづくりと一体となった快適な商業空間の創出
松戸駅前改良と商店街の連携、安全で快適な歩行者空間の充実、駅東口相模台の新拠点ゾーン事業との連携

- ③ 多様な人で賑わう新たな都市の魅力の創出
商店街活性化と若者文化の融合、新たな観光交流ニーズの発掘

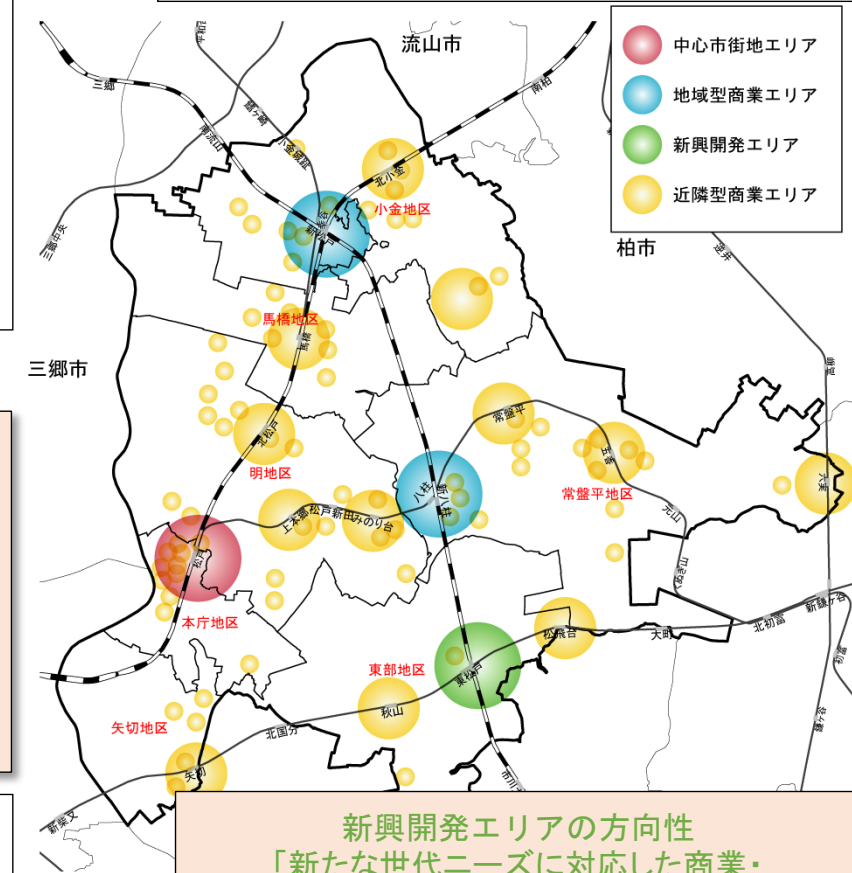
- ④ 地域資源の活用による商業地の魅力の向上
地域資源を活用した商業イベントの促進、公共空間等の活用にあたっての支援

近隣型商業エリアの方向性 「近隣住民の日常生活の利便性の維持・向上」

- ・地域の商店街等の近隣型商業エリアは、既存の商店街の環境整備を継続的に支援し、日常生活の利便性の維持・向上を図る。

- ① 商業地の環境整備
街路灯の設置支援、街路灯のLED化等による維持管理の軽減、街路灯の維持管理への支援、商店街活性化に関する補助事業の情報提供、歩行者空間の充実

- ② 商店会の組織力の強化
商店会への加入促進支援、若手商業者の育成



新興開発エリアの方向性 「新たな世代ニーズに対応した商業・コミュニティ機能の集積」

- ・人口・世帯数が増加しているが、商業施設や商店街が少ないことから、商業施設の集積を進める。
- ・新しいまちとしての商業地でのコミュニティ機能の向上が重要となることから、地域の商業の発展に資する担い手の育成を進める。

- ① 新たな生活拠点としての商業機能の集積
複合用途型集合住宅への商業機能の配置、大規模小売店舗の地域貢献活動の推進

- ② 地域コミュニティの担い手の育成
地域のコミュニティ活動への支援、コミュニティ活動の中核となる団体・組織の育成